



黒漆塗竹に雀蒔絵手箆筥（苗木遠山史料館蔵）

秋の企画展

遠山家の工芸品と苗木城絵図

会期：10月7日(土)～12月10日(日)

会場：苗木遠山史料館 特別展示室

鉱物博物館

第29回企画展 **博物学の黎明と鉱物—本草綱目・雲根志の石**

10月14日(土)から

博物学は自然の万物を分類・記載し、自然を理解しようとする学問です。現代の地球科学(地質学・鉱物学・古生物学など)や生命科学(植物学・動物学など)は博物学から発展しました。

博物学からさらに時代をさかのぼると、東洋では薬として植物(薬草)や鉱物(薬石)を研究する本草学に至ります。日本でも本草学によって石を理解しようとしていました。江戸時代以前の書物に載せられた石たちを紹介します。

- 会 期 / 10月14日(土)～12月24日(日)
- 会 場 / 鉱物博物館 企画展示室
- 休館日 / 毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日 / 11月3日(金・祝)



本草綱目 図巻上「水金」「山金」
いずれも自然金で、「水金」は砂金、「山金」は岩石中に見られる金
中山道歴史資料館蔵



自然金「山金」
中国 甘肅省 [EB23020002]
写真左右約1cm



本草綱目 図巻上
「丹砂」「水銀」「雄黄」「雌黄」
「丹砂」は水銀の硫化鉱物、「雄黄」
「雌黄」はヒ素の硫化鉱物
中山道歴史資料館蔵



辰砂「丹砂」
奈良県 大和水銀鉱山 [EA66NB0010]
標本左右約6.5cm

(大林)

苗木遠山史料館

秋の企画展 **遠山家の工芸品と苗木城絵図**

10月7日(土)から

遠山家は、初代友政から12代友禄にわたり一度も国替えが無く、江戸時代を通して苗木領主としてこの地を治めました。その苗木遠山家に伝来していた収蔵品から厳選した工芸品を、苗木城絵図を背景に紹介します。

- 会 期 / 10月7日(土)～12月10日(日)
- 会 場 / 苗木遠山史料館 特別展示室

■ 秋の企画展講演会「遠山家の工芸品について」

- 講 師 / 小川幹生さん(元名古屋博物館学芸員)
- 日 時 / 10月7日(土) 13:30～15:00
*詳しくは4ページをご参照ください。



苗木城御真景図(当館蔵)



鶴に松竹梅時絵違棚(当館蔵)

多治見市美濃焼ミュージアムコラボ企画展 **没後100年 成瀬誠志とその周辺**

1月28日(日)まで

郷土中津川の名工・成瀬誠志(1845～1923)は、恵那郡茄子川村生まれの陶芸家です。主に郷里や東京で焼き物制作にいそしみ、1893年のシカゴ・コロンブス大博覧会で工芸一等賞、1900年のパリ万国博覧会で銅牌を受けるなど世界的に作品が認められています。

成瀬誠志の没後100年を記念し、生涯にわたって自身の美を追い求めた誠志の世界を時代背景とともに紹介します。

- 会 期 / 9月2日(土)～令和6年1月28日(日)
- 会 場 / 苗木遠山史料館 2階展示スペース
- 休館日 / 毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日 / 11月3日(金・祝)



東京薩摩獅子鈕香炉(源長寺蔵)

(浅井)

中山道歴史資料館

企画展 中津川の歴史文化～古銭から見る中津川宿の流通経済～

10月3日(火)から

中津川での貨幣の歴史を調べてみると、『岐阜縣の歴史』・『中津川市史』・『濃飛両国通史』・『恵那神社史』・『御坂越史』などの記述から、霧ヶ原・千旦林・苗木三郷の三ヶ所で多くの渡来銭・銭貨の出土があったということがわかります。中でも『御坂越史』によると、霧ヶ原からは「和同開珎」を含む和漢の古銭が出土したとされています。これらの貨幣は東山道・鎌倉街道・中山道などの街道の往来とともに、この地の流通経済活動の基盤を作り上げてきたと考えられます。

本企画展では、当地旧家に伝承していた武徳4(621)年の開元通宝(中国)、咸平年間(998～1003)の咸平元宝(日本)、文久3(1863)年の文久永宝(日本・江戸)や、日本の歴史上最大の鑄造枚数を誇る「寛永通宝」などを展示します。

- 会 期／10月3日(火)～令和6年3月31日(日)
- 会 場／中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／10月8日(日)・11月3日(金・祝)
11月5日(日)・12月3日(日)



寛永通宝四文銭(個人蔵)
表面(左)と裏面の波模様(右)

寛永通宝一文銭(個人蔵)
裏面の「文」の文字
(伊藤)

東山魁夷心の旅路館

第Ⅳ期展 古都—日本の美

12月24日(日)まで

北欧の旅から帰った魁夷は、京都や奈良の持つ日本的なものの良さを改めて深く味わってみたいと思い、四季折々の古都の風景を絵に残しました。悠久の歴史と文化が息づく繊細優美な日本の古都の美をご堪能ください。

- 会 期／9月15日(金)～12月24日(日)
- 会 場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(金・祝)

(入曾)



雪の石庭(習作) (セリグラフィ)



宵山(習作) (セリグラフィ)



宵桜(新復刻画)

熊谷樞つけちギャラリー

描かれた恵那山—21名の画家たち

12月24日(日)まで

恵那山は中津川を代表するシンボルであり、多くの画家がその姿を捉えています。中津川市や恵那市などの出身画家が、恵那山をどのように描写し、表現したのか。21名の画家の作品をそれぞれ1点ずつ紹介します。

- 会 期／9月1日(金)～12月24日(日)
- 会 場／熊谷樞つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／11月3日(金・祝)



(原)

加藤公雄「春近し」

- 各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
- 各館の連絡先は8ページをご参照ください。



最新情報は各館にお問い合わせください。
 中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。
 ※右のQRコードを読み取ると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。



中津川市の博物館WEBサイトQRコード

苗木遠山史料館

土曜講座 第4回

秋の企画展講演会 「遠山家の工芸品について」

工芸品について解説したあと、苗木遠山家の工芸品調査でわかったことやその魅力を紹介します。

■講師：小川幹生（元名古屋市博物館学芸員）

開催日	10/7(土)		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	資料代 250円
申込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

金曜講座 史料館調査報告

史料館文書でわかった内容を紹介します。

■講師：調査員 千早保之

開催日	第4回11/17(金) 「尾張久田村と山論」 奇数月第三金曜日(隔月)		
時間	13:30~15:30	対象	一般
定員	20名	費用	資料代 250円
申込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

古文書教室 史料館文書を読む

遠山家古文書を解説しながら、みんなで学んでいく教室です。

■担当：調査員 加藤宣義・千早保之

開催日	第7回10/28(土)、第8回11/25(土) 第9回12/23(土) 毎月第四土曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	年間1,000円
申込	開催日まで随時受付、先着順、 途中の回からの参加可		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典		



中山道歴史資料館

文学講座 島崎藤村の『夜明け前』を味わう I

島崎藤村の大作『夜明け前』を解説しながら朗読していきます。

■講師：館長 西村友孝

開催日	第13回10/4(水)、第14回10/18(水)、第15回11/1(水) 第16回11/15(水)、第17回12/6(水)、第18回12/20(水) 毎月第一・第三水曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
申込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		
その他	持物：『夜明け前』		

歴史講座 幕末維新講座

明治維新を中心に、明治時代の歴史をわかりやすく読み解きます。

■講師：仁科吉介

開催日	第13回10/11(水)、第14回10/25(水)、第15回11/8(水) 第16回11/22(水)、第17回12/13(水) 毎月第二・第四水曜日		
時間	13:30~14:30	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
申込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		

✂ 光でオルゴールのようなメロディーが鳴る装置をつくろう

光を使って音や音楽を伝えることができる装置をつくります。

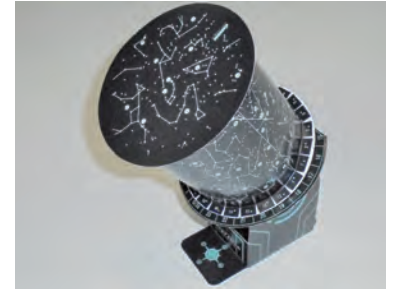
開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
10/14 (土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	300円	大井文高さん	締切 10/6

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。
(不在の場合は、次の方が当選になる
こともあります。)
- 小学校3年生以下の参加には、
大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

✂ 星空万華鏡をつくろう

鏡を貼り合わせ、点滅LEDで星空のような万華鏡をつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
11/11 (土)	9:30~11:30	小学生以上	10名	500円	山内健治さん	締切 11/3



プラネタリウム クラフトキットをつくろう

✂ プラネタリウム クラフトキットをつくろう

紙でプラネタリウムをつくり、子ども科学館のドームに映して星座を楽しみます。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
12/2 (土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	1,300円	大橋 弘さん	締切 11/24

子ども科学館 三二科学 工作まつり

日時：11月3日(金・祝) 9:30~12:00

いろいろな科学工作や、ミニプラネタリウム上映、太陽望遠鏡による太陽観察、手作りホバークラフト試乗、プログラミングロボ体験などをお楽しみいただけます。
お子さん全員に手作りのおみやげをプレゼント。



*入館無料(終日) *参加費無料 *催しは予定です。都合により変更する場合があります。
*11月2日(木)は準備のため、16時に閉館させていただきます。

秋の星を観る会Ⅱ

～月と土星と秋の星雲・星団を観よう～

三日月、環のある土星、
アンドロメダ星雲を
天体望遠鏡で観察します。
ペガスス座を中心に
秋と夏の星座も観察します。

日時 10月21日(土)
18:30~20:00
*天候不良時は中止

場所 子ども科学館前集合

講師 中津川市教員OB

定員 30名(先着)

受付 9月24日(日)9:30~
*参加費無料、どなたでも参加できます。
(小学生以下は保護者同伴)

秋の星を観る会Ⅱ

～月と土星と木星と秋から冬にかけての
星雲・星団を観よう～

満月に近い月、環のある土星、
縞模様のある木星、すばるを
天体望遠鏡で観察します。
ペガスス座を中心に
秋の星座も観察します。

日時 11月23日(木・祝)
18:30~20:00
*天候不良時は中止

場所 子ども科学館前集合

講師 中津川市教員OB

定員 30名(先着)

受付 10月22日(日)9:30~
*参加費無料、どなたでも参加できます。
(小学生以下は保護者同伴)

星空観察会 —ふたご座流星群と冬の星座—

鉱物博物館・子ども科学館共同企画

■日時 12月15日(金) 18:30~20:00

■場所 鉱物博物館駐車場

*詳しくは鉱物博物館の教室案内(6ページ)をご覧ください。

石割体験 共催：鉱物博物館友の会

恐竜が絶滅する前にできた石（みかげ石）をプロの道具で割ってみましょう。かたい石があなたの手でまっぴたつ！

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
11/3 (金・祝)	13:30~14:30	小学生以上	30名	無料	中根石材	当日受付 整理券配布	

ネイチャーゲーム「のぞいて発見！自然のもよう」

夜明けの森をゆっくりと散歩しながら自然とふれあう遊びをします。
お土産は参加者自身のデザインによる「自然の紋・マイ家紋」です。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
11/19(日)	9:30~12:00	小学生親子	10組	ひとり 300円	恵那山ネイチャー ゲームの会	10/19~11/2 抽選	山に入れる服装

森の木の実にリースづくり

植物のツルを使ったリース飾りをつくります。木の実や葉っぱを飾りつければ、自分だけのリースのできあがり。
自分でつくったリースを飾って、素敵なクリスマスを迎えましょう。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
11/26(日)	10:00~12:00	小4~大人	12名	500円	職 員	10/26~11/10 抽選	小3以下は保護者同伴で

石のキャンドルづくり

石でつくった容器にロウを流し込めば、素敵なキャンドルのできあがり。
火を灯すと石をすかして暖かな光が広がります。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
12/10(日)	9:30~12:00	小5~大人	6名	1,000円	職 員	11/10~11/24 抽選	小4以下は保護者同伴で 持物：空の牛乳パック(1リットル)

星空観察会—ふたご座流星群と冬の星座 鉱物博物館・子ども科学館共同企画

冬の星座とこのころ極大をむかえるふたご座流星群を観察します。この時期、最高に冴えわたる冬の星座を観たり、
望遠鏡で冬の星座・星団を観察します。子ども科学館、鉱物博物館どちらでもお申し込みいただけます。
天候不良で中止の場合は、当日17時までに各館ウェブサイトでお知らせします。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
12/15(金)	18:30~20:00	親子	50名	無料	中津川市教員 OB	11/12~ 先着順	持物：懐中電灯、防寒具 天候不良の場合は中止

ミニ門松づくり

自分でつくった門松を飾って、お正月を迎えましょう。ミニといっても高さ1mほどの立派な門松です。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
12/24(日)	① 9:30~12:00 ② 13:30~16:00	親子	各6組	1,500円	職員・友の会	11/24~12/8 抽選	持物：軍手、移植ゴテ



森の木の実にリースづくり



石のキャンドルづくり

苗木遠山史料館

明治2年のこうもり傘

こうもり傘を大百科で見ると、「1852年に英国で現在の形が特許を得、日本では1861年に咸臨丸でアメリカから帰った勝海舟が一本のこうもり傘を持ち帰ったが、攘夷派を怖れて用いなかった。明治3、4（1870、71）年頃から輸入され、7、8年頃には東京市中でぼつぼつ見られるようになり、新文化のシンボルになった」とあります。（『世界大百科事典』平凡社）

ところが、明治2（1869）年旧8月、雨天の苗木藩の光景を描いたこの図には、こうもり傘が描かれています。

明治2年6月に苗木藩の版籍奉還（大名の領主権を返上）が認められ、大名遠山家は断絶しますが、遠山友禄は藩知事に任命されました。



遠山美濃守様 御廻村之図（安江家寄託展示）

2ヵ月後、8月20日から3泊4日で知事と藩庁幹部5名が藩内を巡村しました。20日は加茂郡犬地村、21日は油井村に泊まり、22日夜は越原村名主安江猶一郎宅に泊まり酒宴がもたれました。

越原村は代々越原家が庄屋を勤めていましたが、新たに安江が名主（庄屋）になり、知事を迎えました。安江は黒川村の表具師藤井茂介に写画を依頼し、2枚の貴重な絵が残りました。1枚は22日、油井村名主杉山丈左衛門の案内で越原村へ着く一行の様子です。馬上の知事友禄と歩行の青山直道ら藩庁幹部5名、案内の杉山・馬子が描かれています。雨天とみえて知事以下4名が洋傘を用い、「こんむりがさ」と表記されています。（名主の杉山は和傘、3名は傘なし）

大百科では明治3、4年から洋傘が輸入され始めたことのあるのに、東京でなく苗木辺地のつましい一行が、明治2年に洋傘を普通にさしている姿は、なんと見たらいいでしょうか。

（千早）

中山道歴史資料館

中津川商人の商圈

江戸時代から明治期、中津川の商人たちの商圈範囲の広さと、取引で動かしていた金額の大きさには驚くものがあります。

彼らが活躍できた背景には、中津川を尾張藩が統治しており、地理的には日本の中心に位置していたことがあります。京・江戸・加賀・三河に通じる交通の交差点であり、人の往来がもたらす情報が多く入る場所でもありました。また、古くから京の近くで鍛えられてきた近江系の商人たちが、中津川の経済的価値を見抜いて移ってきたことや、当地を管理する官の事情と民の利害が一致したことも大きな要因と考えられます。

商人たちの商圈は飯田・稲武・岩村・土岐・細久手・蛭川・福岡・木曾福島など広範囲にわたり、近江・京都・横浜なども大きな取引先になっていました。

資料によると、生糸に関する取引で、元治元（1864）年4月の大坂屋七兵衛の取引では、見積額9,725両と記録があります。文久4（1864）年1月高山での生糸取引では、2,000両ものお金が動いています。しかも即金は1,000両、残金は後日支払う事で商談が成立しており、中津川商人の信用の高さがわかります。

また、文久3（1863）年8月には、木曾福島代官の山村氏から中津川の商人への献金7,000両の要請に対し、「用立てる大義に疑義がある」として、間半兵衛は建白書を提出しています。広範囲に渡る商圈で稼ぎ利益蓄財をなしつつ、官の要請に対しては必要なものは出し、そうでないものには疑問を述べていたことがわかります。

中津川の商人は藩政に対して大きな発言力を持っていたと考えられ、この地方の流通経済活動を牽引し、商産業発展に影響を与えました。



中津川商人の商圈範囲が見える地図（個人蔵）

（伊藤）

文化の日入館無料デーのご案内

中津川市の博物館では、11月3日（金・文化の日）の入館を無料とします。対象施設は、苗木遠山史料館・中山道歴史資料館・子ども科学館・鉱物博物館・東山魁夷心の旅路館・熊谷樞つけちギャラリーの6館です。各館で催しも予定しています。

■苗木遠山史料館

歴史クイズラリー、ぬり絵
箏演奏



■中山道歴史資料館

第1回
蓄音機懐かしの音色鑑賞会



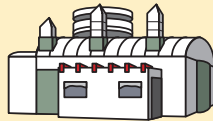
■鉱物博物館

ジェムストーンさがし
石割体験、水晶さがし など



■子ども科学館

ミニ科学工作まつり（午前中）
ミニプラネタリウム上映
お子さん全員に手作りの
おみやげプレゼント



■東山魁夷心の旅路館

先着30名様に
ポスタープレゼント



*催しは予定です。
*催しの中には有料のものや開催時間の限られているものがございますので、詳しくは各館にお問い合わせください。



鉱物博物館

ミュージアムフェスタ2023を開催しました

鉱物博物館では、7月23日（日）に「ミュージアムフェスタ2023」を開催しました。

クイズラリー、手づくりアクセサリー、ジェムストーンさがし、鉱物・化石の販売、飲食販売など、2年ぶりに各コーナーも開催しました。

中津川市消防団音楽隊のみなさんの演奏もあり、ミュージアムフェスタを盛り上げていただきました。

暑い夏の日でしたが、たくさんの方にご来場いただきました。



ジェムストーンさがし

寄贈を受けました 2023年6月～8月受贈分

中山道歴史資料館

宮口茂樹様 書籍61点

鉱物博物館

竹下良美様 書籍1点

石橋隆様 鉱物標本4点

下坂康哉様 資料・鉱物標本一式

ありがとうございました。

休館日

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

□ 東山魁夷心の旅路館休館日
■ その他4館の休館日 ※子ども科学館のみ11月2日（木）は16:00閉館
熊谷樞つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館
*年末年休館日のお知らせ 12月25日（月）から1月5日（金）まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク
中津川市鉱物博物館 〒508-0101 中津川市苗木639番地の15
JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分
FAX 0573-67-2191
☎ 0573-67-2110 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

わくわくドーム
中津川市子ども科学館 〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1
JR中津川駅から徒歩約20分
FAX 0573-66-9171
☎ 0573-66-9090 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/>

苗木城跡歴史の広場
中津川市苗木遠山史料館 〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2
FAX 0573-66-9290
☎ 0573-66-8181 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

中津川宿を中心とした歴史の旅
中津川市中山道歴史資料館 〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号
JR中津川駅から徒歩約10分
FAX 0573-66-7021
☎ 0573-66-6888 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>

木谷谷に抱かれた美術館
中津川市東山魁夷心の旅路館 〒508-0501 中津川市山口1番地15
中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣母内」
FAX 0573-75-5225
☎ 0573-75-5222 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/>

山と青川の小さな美術館
熊谷樞つけちギャラリー 〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52
(アートピア知交芸プラザ内)
中央自動車道「中津川IC」から車で約40分
☎ 0573-82-4911 <http://www.kaya-kumagai.jp>